

2014春季生活闘争・妥結情報

No. 1 2014. 3. 12 連合北海道2014春季生活闘争本部

【妥結・第1号】 3月12日 16:00

※(正式には3月13日職場への妥結提案・3月21日の提案採決による)

第1次交渉ゾーンのヤマ場を迎え、第一報届く！

トヨタ自動車北海道労組【自動車総連】

◇ 組合員 ひとり平均 6,600円(2.52%)

〔ベア 1,100 円 0.42%+賃金カーブ維持分 5,500 円 2.10 %〕

◇ 一時金、満額回答！ 年間5ヶ月+3万円

年間 1,374,000 円(夏季・冬季 各 687,000 円)

第1次交渉・回答ゾーンの最大のヤマ場を迎えた3月12日夕刻、第一報が届いた。

連合北海道2014春季生活闘争に結集する産業別部門連絡会A部門「金属・機械部門」の構成産別である自動車総連の「トヨタ自動車北海道労組」である。

月例賃金は、賃金カーブ維持分を確保し、ベアも1,000円を超える額をしっかりと獲得した。

一時金は要求通り、満額決着（年間5ヶ月+3万円）している。

トヨタ関連企業の「アイシン北海道労組」、UAゼンセン（Aグループ）の4組合（ホーマックユニオン・イオン北海道・マックスバリュ北海道・ツルハユニオン）が12日、深夜の交渉が続けられており決着が待たれる。

2014春季生活闘争は、3月10日から第1次交渉・回答ゾーンに入り、先行組合グループの最大のヤマ場である12日を迎えた。極めて厳しい状況の中、月例賃金引き上げにこだわり、粘り強い交渉を繰り広げた結果、先行する組合で月例賃金引き上げの回答が示された。今次闘争は2015以降の闘争につながる重要な転換点であり、とりわけ消費者物価が上昇している中で、実質賃金の維持が不可欠であることをあらためて強調する。

先行組合の回答引き出しを受け、これに続く組合が回答を引き出し、その成果を非正規・未組織労働者を含めすべての働く者の底上げ・底支えの実現と経済の好循環実現につなげなければならない。

各地域においても、引き続き街宣行動を展開し、月例賃金の引き上げに向けた世論喚起と交渉支援に全力を挙げていく。